

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア講座 文化としての病と老い

慶應義塾大学教養研究センターは、「身体知」、「生命の教養学」、「庄内セミナー」など、教養を通して「生きることの意味」、「生きることの価値」を問いかける研究・教育を行ってきました。この度、これまでの活動を踏まえて、「文化としての病と老い」という研究テーマに取り組むにあたり、2015年度秋、4回の公開講義、2回のワークショップを慶應義塾生のみならず、一般の方にも公開します。

2015

① 講義

10/6 (火) 16:30~18:00

生きることと病むこと—その歴史的な変遷

鈴木晃仁 慶應義塾大学 経済学部教授

② 講義

10/27 (火) 16:30~18:00

病とユートピア：認知症の医療人類学

北中淳子 慶應義塾大学 文学部准教授

③ ワークショップ

10/31 (土) 午後 (未定)

「病と舞踏」—ビショップ山田によるレクチャーワークショップ

ビショップ山田 舞踏家

④ 講義

11/17 (火) 16:30~18:00

高齢社会と運動器の障害

黒澤 尚 順天堂大学 順天堂東京江東高齢者医療センター特任教授

⑤ 講義

12/15 (火) 16:30~18:00

歌舞伎に見る『病』～その心意伝承～

犬丸 治 演劇評論家 歌舞伎学会運営委員

2016

⑥ ワークショップ

1/16 (土) 午後 (未定)

映画『アイリス』上映会+レクチャーワークショップ

佐藤元状 慶應義塾大学 法学部准教授

募集要項

募集対象：慶應義塾大学生・大学院生、一般

会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス内

受講料：無料

講義・ワークショップとも1回からのお申し込みが可能です。

複数回のお申し込みも歓迎いたします。

講義

募集定員

300名 定員に達し次第募集を締め切ります。

受付期間

2015年7月25日(土)～9月25日(金)

申込方法

教養研究センター WEB ページのお申し込みフォームからお申し込みください。

ワークショップ

受付期間、申込方法等詳細は、8月以降教養研究センター WEB ページをご覧ください。

ヘルスケア・ニューフロンティア構想

「最先端の医療や最新技術の追求」、「未病を治す」というアプローチを融合することにより、健康寿命を延ばすとともに、新たな産業を創出し、誰もが元気で長生きできる社会を目指す神奈川発のプロジェクト。

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0121/>

慶應義塾大学教養研究センター

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア講座 事務局 URL: <http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/>

〒223-8521 横浜市港北区日吉 4-1-1 Tel.045-563-3978 Fax.045-563-3979

E-mail: hn-2015@adst.keio.ac.jp (お電話でのお問い合わせは土日祝日および8月20～31日を除く9時-17時)

教養研究センター 検索

●受講者の方々にかかわる個人情報の取扱い

慶應義塾大学教養研究センター主催「神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア講座」受講に関する個人情報は、「神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア講座」を含む同センターからのお知らせのみに対して利用し、十分プライバシーに配慮し、慶應義塾ならびに講座運営の委託を受けた受託業者が適正かつ責任を持って管理を行います。個人情報は、ご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。この講座は映像で記録され、慶應義塾の教育研究支援に使用されることがあります。